

「笹川記念保健協力財団 看護研修会 in 東京」で、本学看護学科の教員が講演をしました

- ・2019年2月23日（土）に笹川記念保健協力財団主催、日本看護協会・日本訪問看護財団後援の講演会「在宅看護と災害」で看護学科の畑吉節未教授が日本看護協会ビル（東京都渋谷区神宮前）で講演を行いました。
- ・講演会は、日本看護協会福井トシコ会長の挨拶でスタートし、笹川記念保健協力財団の喜多悦子会長、厚生労働省健康局健康課 武井貞次課長の講演に続き、畑教授は「在宅の特性を踏まえ訪問看護ステーションの災害への備えをデザインする」をテーマに講演をしました。
- ・当日は全国から120名の訪問看護師や医師、大学教員が聴講をされ、近年、国内で発生している自然災害発生時に、在宅で療養中の住民へのケア/在宅看護が、どのような対応をすべきかを学ばれました。

講演中の畑教授



講演会後の交流会にて



右から笹川記念保健財団 喜多悦子会長
日本看護協会 福井トシコ会長、畑教授